

寄棟屋根の手動作成方法

文書管理番号：1043-01

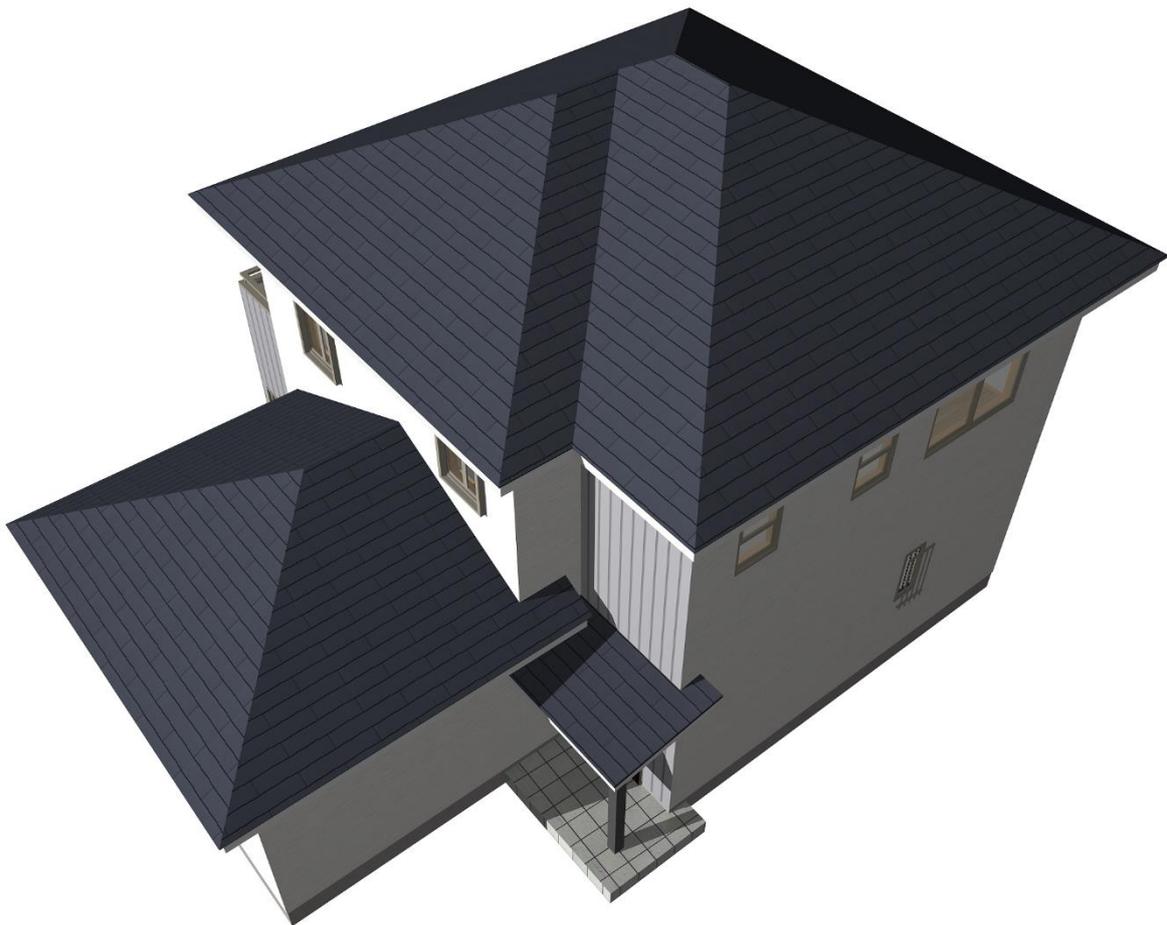
Q. 質問

寄棟屋根を手動入力で作成したい。

A. 回答

下のような「寄棟屋根」を手動入力で作成する手順を説明します。

ここでは2階の屋根の入力のみ説明します。



操作手順

説明画像はグリッドを非表示にしていますが、作図はグリッド表示で行っています。

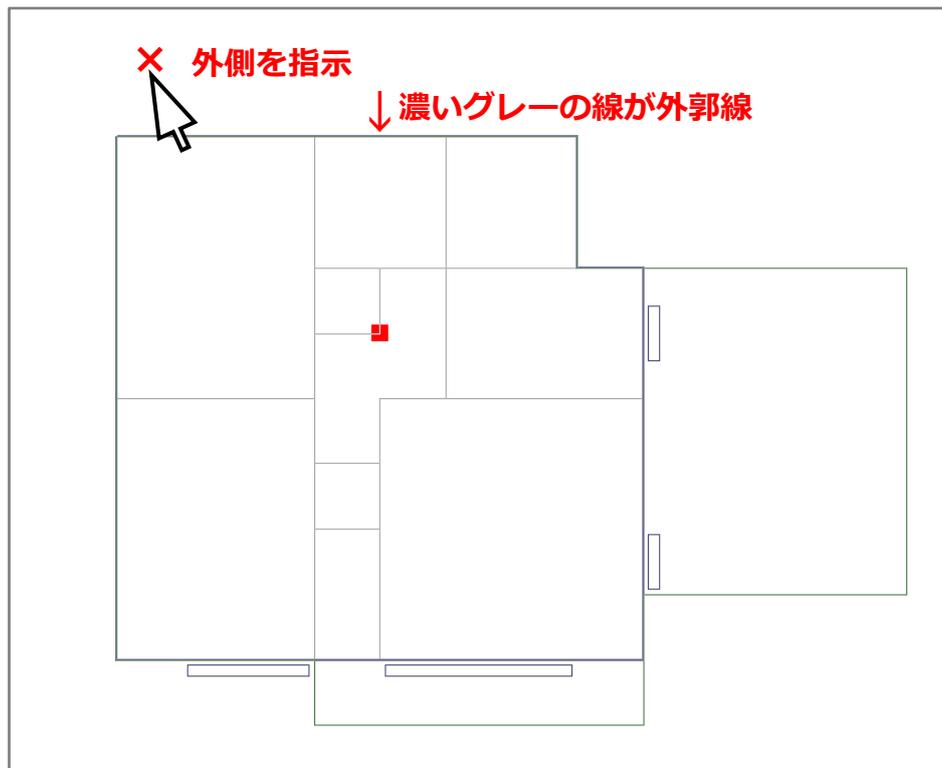
● 下書き線で寄棟屋根の範囲を入力

- ①  (下書き線)をクリックし、 (軒先線)の (外郭オフセット)をクリック
* 下書き線のオフセット値を入力する画面が表示されます。

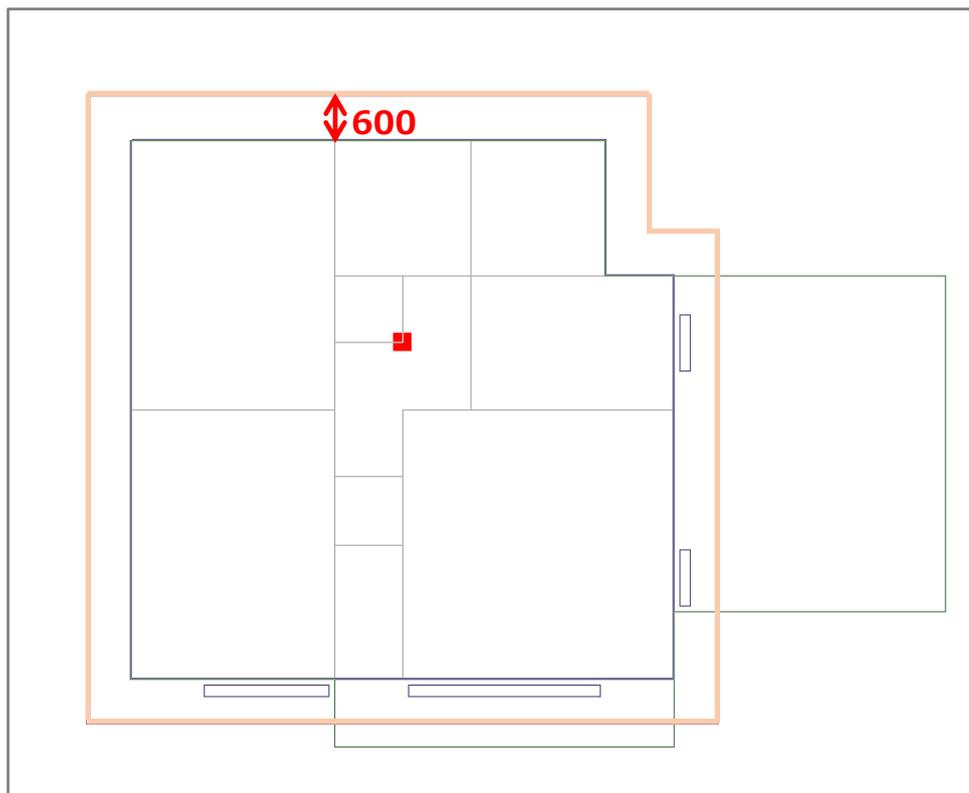
- ② オフセットに「600」mm と入力し、「OK」をクリック



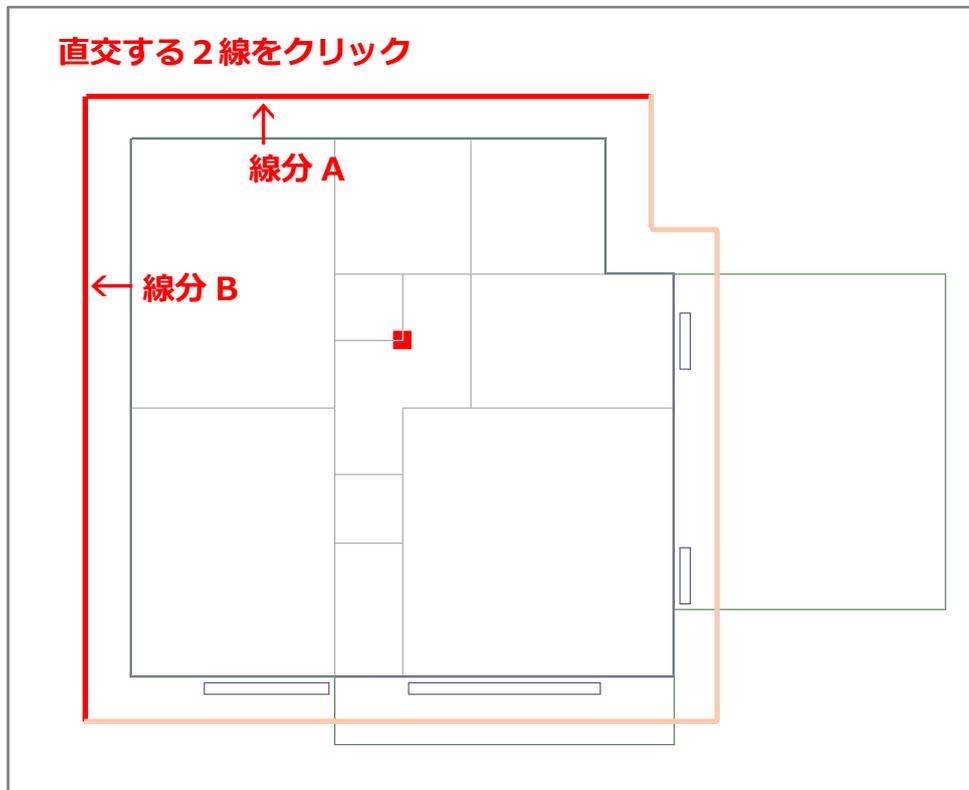
- ③ 建物の外側を指示



* 外郭線からオフセットされた線が入力されます。

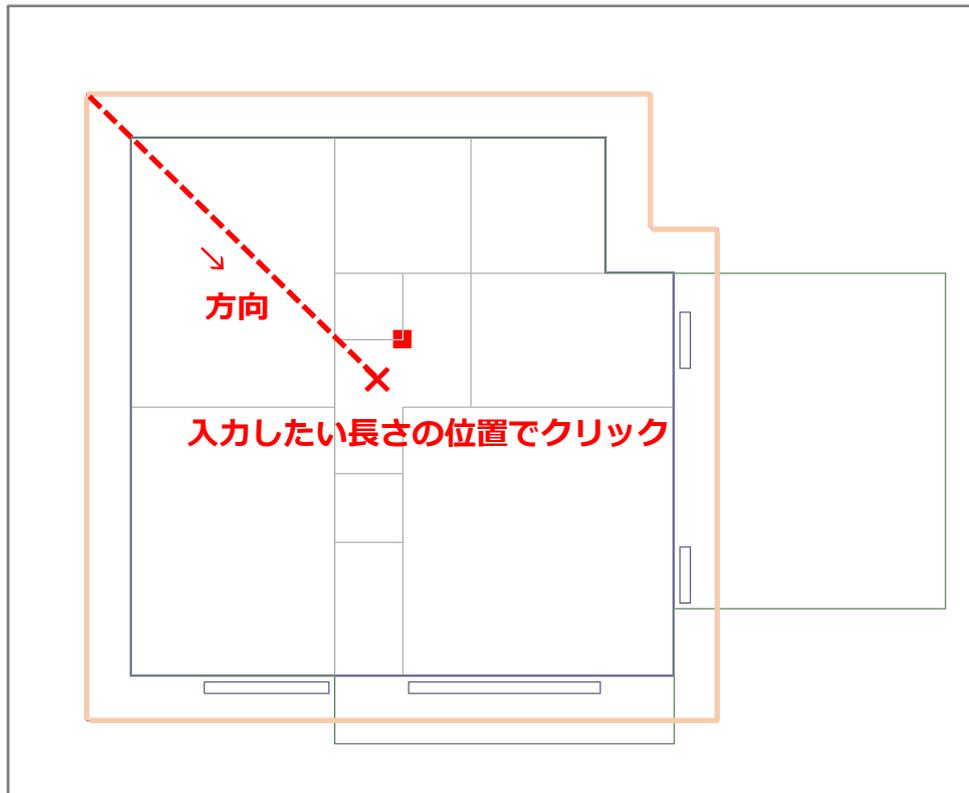


④  (隅線)の  (線分の間)をクリックし、線分 A と線分 B の軒先線をそれぞれ指示

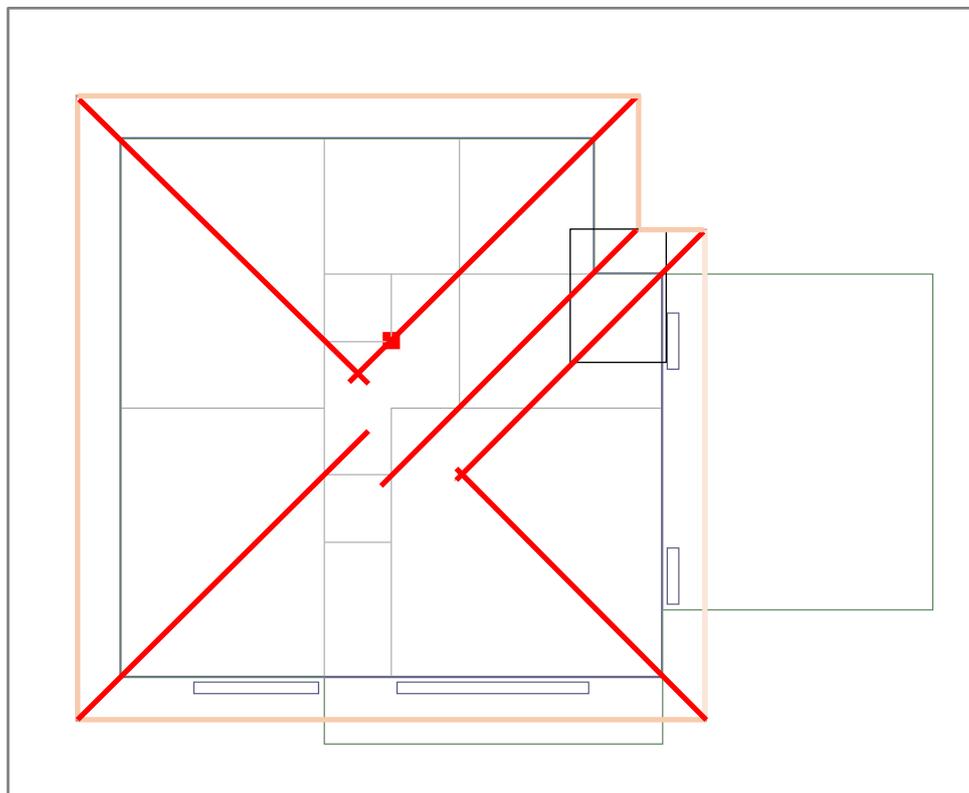


⑤ 伸ばしたい方向と長さの位置でクリック

- * マウスが斜め 45 度固定で動き、選択した直交する 2 線の交点から指示した位置までの長さの隅線が入力されます。

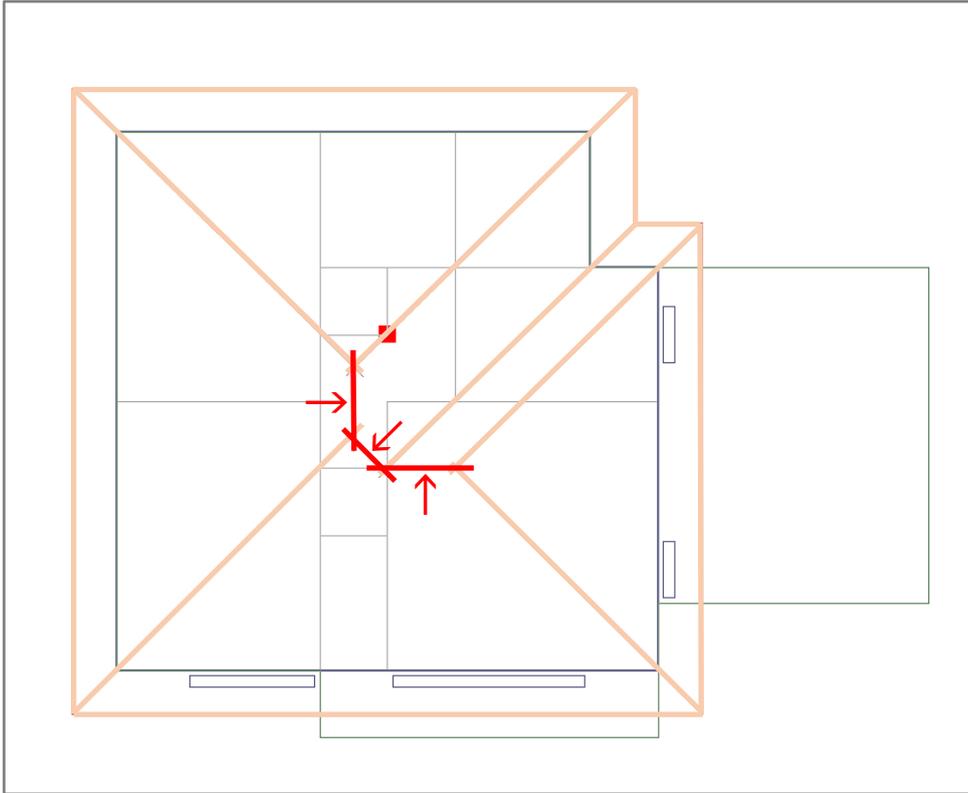


⑥ 同様に他の 5 か所に隅線を入力



⑦  (隅線)の  (単独配置)をクリックし、図のように3か所に起点-終点で隅線を入力。

* 垂直・水平または45度固定でマウスが動き、起点-終点間に隅線が入力されます。



● 面作成で寄棟の屋根面を作成

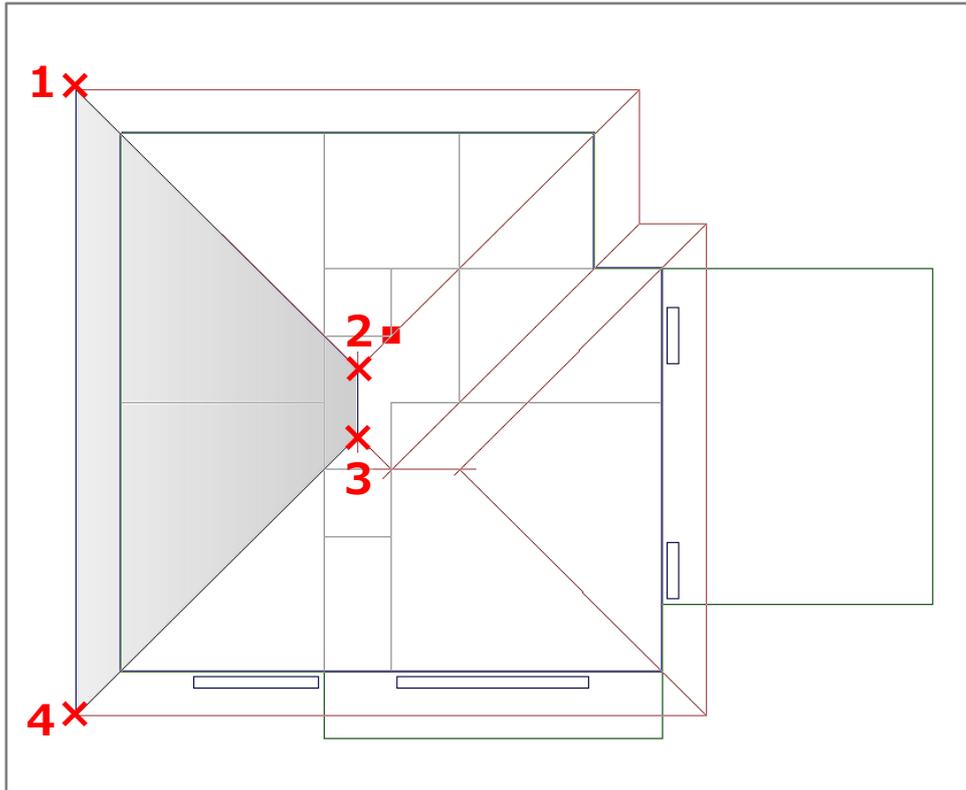
入力した下書き線をもとに、寄棟屋根の形状を作成します。

⑧  (面作成)をクリックし、 (屋根面)の  (多角配置)をクリック

⑨ 図のように1～4の順に指示後、4の位置から少し離してダブルクリック

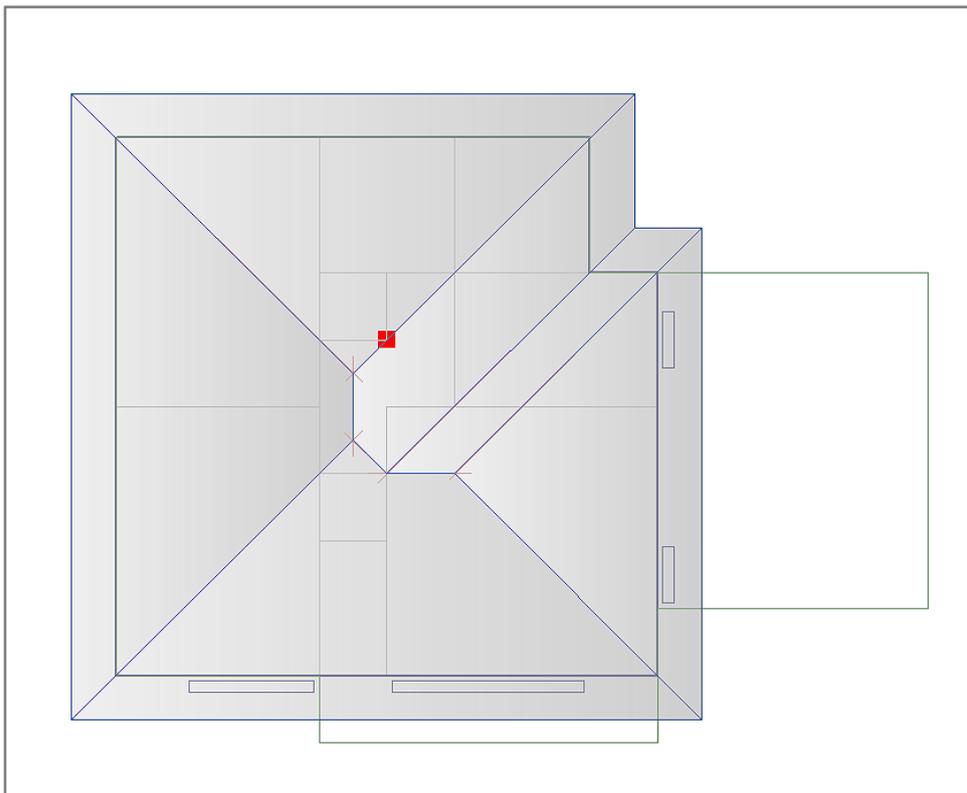
* 1をもう一度指示、または [スペース] キーを押してもかまいません。

* グレーに塗りつぶされた屋根面が作成されます。



* 下書き線で囲まれた範囲であれば、 (面指示)を利用して、屋根面を作成することもできます。

⑩ 同様に他の5つの面を作成



● 面設定で高さや勾配などを決め、寄棟の屋根を作成

- ⑪ ツールバーの (面設定)をクリックし、上部の階層ボタン横の (面設定)をクリック
 * 面設定の画面が表示されます。

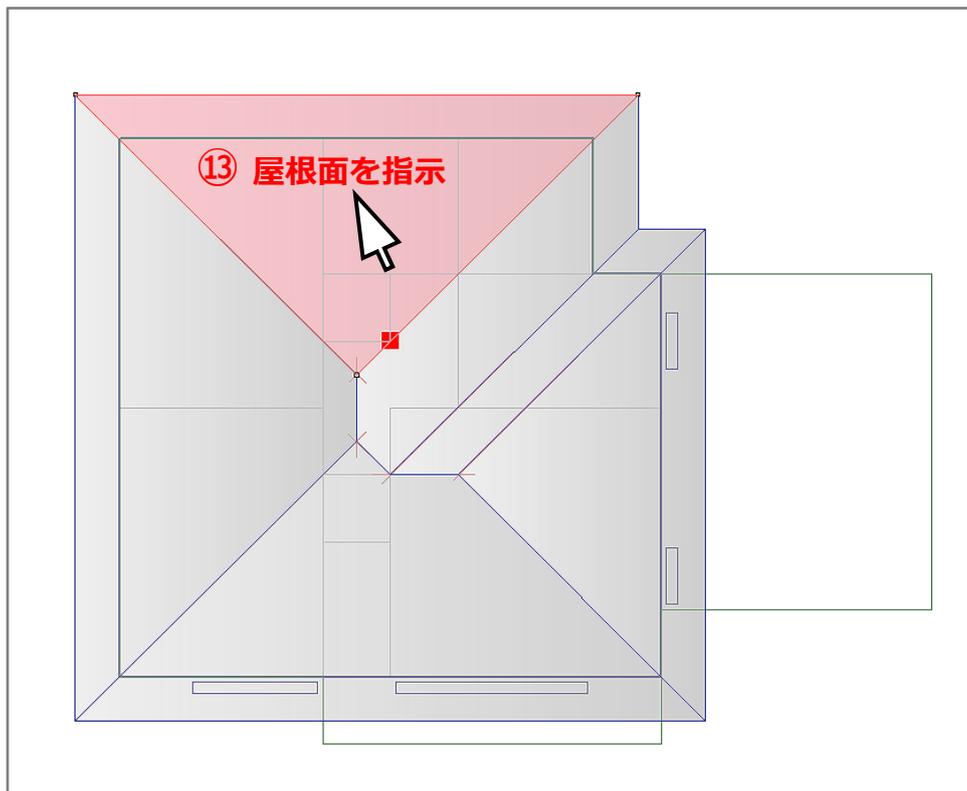
- ⑫ 高さや勾配を設定し「OK」をクリック

* ここでは、軒基準を「0」mm、勾配を「50」に設定し、「カラーベスト 102,222」を選択します。

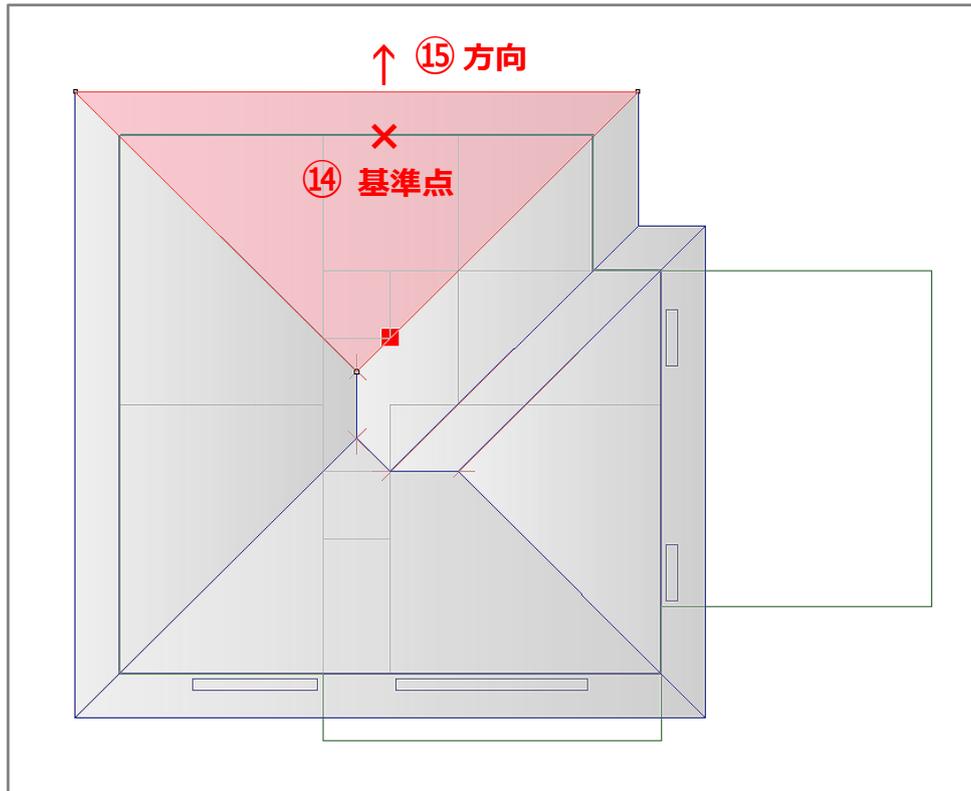


- ⑬ 屋根面の1つを指示

* 指示した屋根面が赤くなります。



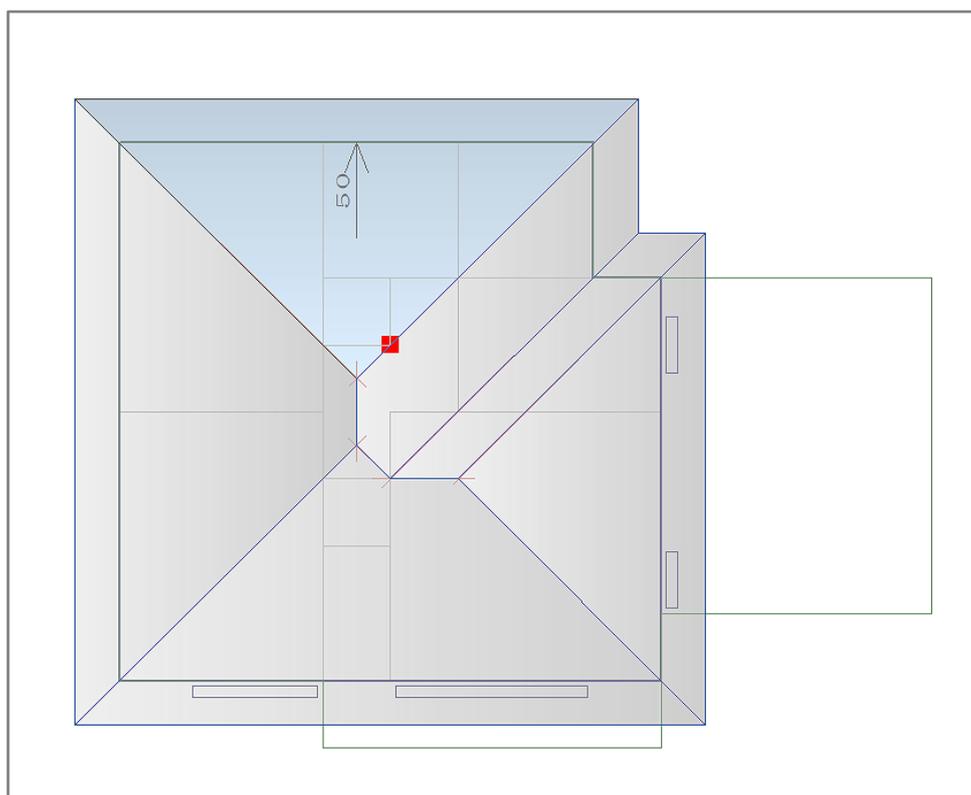
⑭ 基準点（軒桁の高さの位置）を外郭上に指示



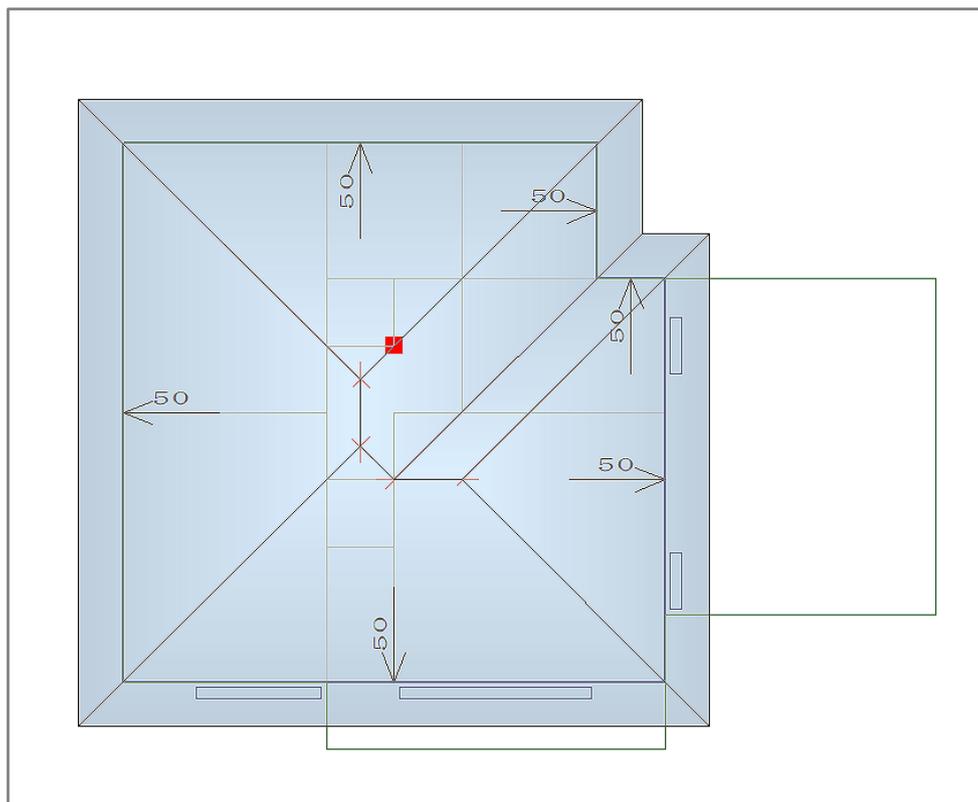
- * グリッドを非表示にしていると外郭線上にスナップしません。グリッドを表示し、オングリッドで行ってください。

⑮ 矢印が表示されるので、屋根の流れ方向に矢印の向きを合わせ、クリックで確定

- * 屋根面に矢印と勾配が表示されます。

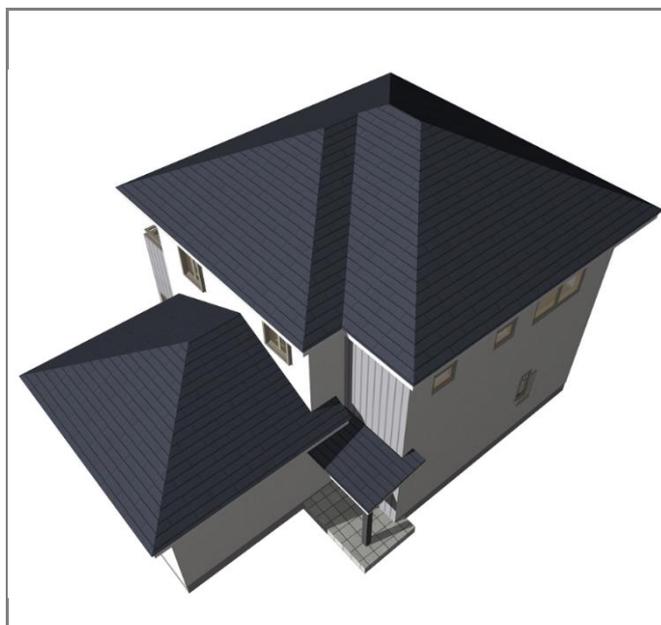


⑯ 同様に他の屋根面にも設定



⑰  (3D パース)もしくは  (リアルタイム3Dビューア)で確認

〈3D パース〉



〈リアルタイム3Dビューア〉

